

障 相 第 1762 号  
平成 30 年 1 月 9 日

各 病 院 長  
各 障 害 児 ・ 者 支 援 関 係 施 設 長  
各 障 害 者 相 談 支 援 事 業 所 長 殿  
各 障 害 者 就 業 ・ 生 活 支 援 セ ン タ ー 長  
各 関 係 機 関 長

山梨県障害者相談所長  
( 公 印 省 略 )

平成 29 年度 地域リハビリテーション研修の開催について (通知)

平素より当所業務につきまして御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。

このことについて、別添実施要領に基づき開催いたしますので、関係職員の出席につきまして御配慮をお願いします。

つきましては、別紙申込書に必要事項を記入の上、平成 30 年 2 月 15 日 (木) までに、FAX または郵送にて送付してください。

〒400-0005

甲府市北新1-2-12

身体障害者相談スタッフ 高尾・保坂

TEL 055-254-8672

FAX 055-254-8675

E-mail: shogai-sdn@pref.yamanashi.lg.jp

# “車椅子・座位保持装置とは”

## ～適切な補装具の選定について～

障害児・者の支援に関わる方々にとって、近年補装具というものは大変身近なものとなってきていると思います。日頃、様々な障害特性をお持ちの方々と接している皆様の中には“そもそも補装具にはどんな種類があるのか？”“個々の障害特性・状況に応じた補装具の選び方とは？”等、疑問に思った方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今回は福祉機器の開発や臨床評価に携わっている講師をお迎えして、補装具の中でも“車椅子・座位保持装置”にテーマを絞り、基本的な理解から各身体障害事例に応じた適切な選定についてお話しいたします。

日 時：平成30年2月22日（木）

14：00～16：00（受付13：30）

会 場：県立文学館 1階 研修室（甲府市貢川1丁目5番35号）

講 師：国立障害者リハビリテーションセンター研究所

福祉機器開発部 福祉機器臨床評価研究室長 しろがね さとし 白銀 暁 氏

対象者：障害者福祉行政に従事する市町村職員、障害児・者支援施設職員、

相談支援事業所職員、身体障害者相談員、リハビリテーション病院職員等

定 員：60名程度

申込方法：裏面申込書に必要事項を記入の上、FAXまたは郵送で申し込み下さい。

締め切り 平成30年2月15日（木）まで

※手話通訳等、配慮が必要な方は2月8日（木）



### 【講師プロフィール】

国立障害者リハビリテーションセンター研究所

福祉機器開発部 福祉機器臨床評価研究室長 白銀 暁 氏【博士（理学療法学）、理学療法士】

### \*学歴\*

北海道大学 医療技術短期大学部理学療法学科、室蘭工業大学 工学部 夜間主機械システム工学科、

札幌医科大学大学院 保健医療学研究科 博士前・後期課程理学療法学・作業療法学専攻

理学療法士としてスタートされ、その後機械工学を学ばれる。リハビリテーション工学の研究と臨床を経て、理学療法士養成大学で講師を勤められる。

2014年3月、現職に着任。現在は主に福祉機器（支援機器）の臨床評価やシーティング関連の研究に尽力されている。

\*\*\*お申し込み・お問い合わせ先\*\*\*

山梨県障害者相談所 身体障害者相談スタッフ（担当：高尾・保坂）

TEL：055-254-8672 FAX：055-254-8675

# 申込書

平成29年度 地域リハビリテーション研修会 申込先  
 山梨県障害者相談所 身体障害者相談スタッフ (担当: 高尾・保坂)  
 FAX: 055-254-8675

日時: 平成30年2月22日(木) 14:00~ (受付 13:30~)

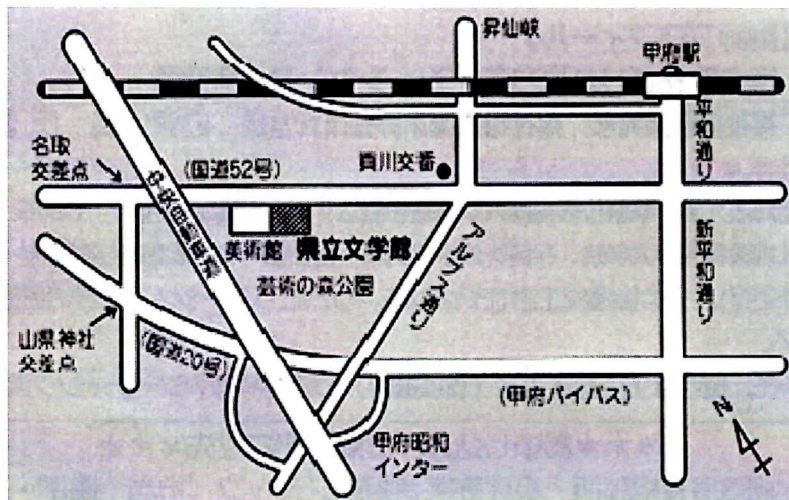
場所: 山梨県立文学館 講堂 (甲府市貢川1-5-35)

所属	職名	氏名	必要な配慮
			車椅子使用・手話・要約筆記 その他( )
			車椅子使用・手話・要約筆記 その他( )
			車椅子使用・手話・要約筆記 その他( )
			車椅子使用・手話・要約筆記 その他( )
連絡先			
※定員を超えた場合等ご連絡させていただきます。			

※施設に属している方は施設名や職名の記載もお願いいたします。  
 身体障害者相談員の方は“職名”の箇所にその旨記入をお願いいたします。

申込期日: 平成30年2月15日(木) ※手話通訳等、配慮が必要な方は2月8日(木)

●講師の先生へのご質問等がありましたら事前にお寄せ下さい。

※駐車場は文学館第3駐車場にとめて下さい